

人口減少対策について

創生会

石田 健太

問 全国的に人口減少が進む中、近隣自治体と定住人口を取り合う競争は、地域全体で見れば「ゼロサムゲーム」であり、縮小均衡に陥る懸念があると考えます。

単に人口の「数」のみを追うのではなく、観光に來た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる「関係人口」を活用し、砂川市の未来を共に創ってくれる「知識・経験・意欲」を持った人材をいかに増やすかという「質」の向上を目指す視点が必要と考えます。

そこで、関係人口活用への市の考えについて伺います。

答 国が創設する「ふるさと住民登録制度」は、将来的な担い手確保に繋げるとしており、市としても各所で人手不足が深刻化する中において、本制度をどういった事業で活用できるか検討していきたいと考えています。

問 外部スキルと地域課題をつなぐ仕組みについて伺います。

答 民間企業の社員を自治体プ

ロジェクトに従事してもらう等「地域活性化企業人」制度や「人材派遣型企業版ふるさと納税」など、これらの制度の活用において当市にマッチングする事業があるのか等、今後、調査・研究します。

問 新たな成果指標の導入について伺います。

答 地域への貢献度を数値で可視化することは、関わる人のモチベーション向上やシビックプライドの醸成に繋がります。「知識・経験・意欲」をもつ人材の活躍状況を測る指標は一定程度必要であると考えています。



マイナ保険証の全面移行に伴う対応について

創生会

伊藤 俊喜

問 令和7年12月1日に従来の健康保険証はすべて有効期限が切れ、翌2日から廃止になりました。ただし、令和8年3月末までは全ての有効期限切れの健康保険証も条件付きながら使用できる暫定措置となっています。

制度の浸透や定着に向けて市民周知、窓口での支援など、砂川市の対応について伺います。

答 国民健康保険証の被保険者に向けては、年度更新を迎えるタイミングで「マイナ保険証は手続きなどなく引き続き利用できること」「マイナ保険証を利用できない方には資格確認書が送付されること」とについて、広報しながら等で周知するとともに、国からの周知依頼があれば随時対応をします。

問 今後は紙の保険証が利用できなくなるという暫定期間終了後の令和8年4月に焦点が移ります。資格確認書は市民に漏れの無いようにプッシュ型で発行していることから宙ぶらりんになる市民はい

ないと思いますが、トラブルが発生することが予想されます。また、令和8年4月以降にいざ医療機関に行ったときに、この制度の変化に気づかずに使えないというケースもあると思います。暫定期間の内から丁寧な市民周知を行っていく必要があります、どのような対応を考えているのか伺います。

答 広報やホームページで対応するとともに、保険証の関係で不安な方については、窓口に来られた際にはマイナ保険証の登録など、必要な支援を引き続き行っていく予定です。



スポーツによるまちづくりの推進について

創生会
山下 克己

問 砂川市では平成30年度に砂川市スポーツ推進計画を策定し、より具体的な施策の方向性を示し、目標達成のための取組みを推進していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大や様々な社会状況の変化に伴い、ますますスポーツを活用したまちづくりの推進が求められていると考えます。そこで、基本目標に係る現状と課題及びスポーツによるまちづくりに対する市の考えについて伺います。

答 本市の現状については、体力・年齢・目的などそれぞれの状況に応じたスポーツを継続しているほか、地域おこし協力隊によるトレーニング指導や教室の開催など市民の介護予防・健康増進を図っています。また、スポーツ団体活動への支援、指導及び運営に携わる方の発掘・育成・指導力の向上などの環境を整備しています。さらに、利用者の安全性確保や衛生的で快適な環境を提供し、適切に管理運営を行うため、大規模

改修や修繕を随時行っています。

課題としては、市民が興味のある教室の開催や運動習慣のない方などへのきっかけづくり、人口減少・少子高齢化による団体数・所属人数の減少、指導者・運営スタッフなどの減少や高齢化によるスポーツ活動への影響、老朽化に伴う計画的な施設改修や改修経費の増大などが挙げられます。

スポーツによるまちづくりには、幅広い世代において一人ひとりのスポーツに対する関心を高める必要があり、健康的で生きがいのあるまちを目指していく考えです。



議会を傍聴してみませんか！



本会議と委員会は、簡単な手続きでどなたでも傍聴することができます。本会議は、審議中も出入りすることが可能です。

議場で直接傍聴されると、より議会が身近に感じられると思いますので、多数の傍聴をお待ちしています。

なお、次回定例会は3月に開かれます。

○詳細 議会事務局(☎74-8796)

会議の開催状況

(10月) 27日 社会経済委員会
議会運営委員会
28日 総務文教委員会

(11月) 20日 総務文教委員会
21日 社会経済委員会

(12月) 1日 議会運営委員会
8日 議会運営委員会
8日～11日 第4回定例会
11日 議会広報編集委員会
18日 第4回臨時会
25日 議会広報編集委員会

(1月) 9日 議会広報編集委員会

行政視察受け入れ状況

11月18日
○美唄市議会
・庁舎建設事業調査視察について